

人間をとりもどそう

いよいよ労協・福利厚生要求闘争へ



三川指導部前の掲示板の、力強いアピール。うまいマンガが、特にここを往き交う人の足をくぎつけにしている。うまいもんだ。



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3034番
編集兼発行人 山下開
半年間1,000円 送料共

おわび
こんどの号の「原告」のページに掲載したいた原稿は、紙数の限界から大量に削除したり、次号へも越したりすることを余儀なくされました。とくに記してお許し下さい。

ひんどの号の「原告」のページに掲載したいた原稿は、紙数の限界から大量に削除したり、次号へも越したりすることを余儀なくされました。とくに記してお許し下さい。

つい先頃、私の尊敬する知人より便りがござった。向うの土地の初冬の景色など紹介の後、「最近とみに体の不自由が目立ってきたが、それにつけても健康は大切なものはない。健康な時は当たり前のように諸々のもの事を見聞きしているが、非常に大切な事、考えなければならぬ事、やらなければならぬ事、を見出としている点が、も記されていましたが、まことに多くが、どうか事を、七十路をこした今日しみじみ思ひ当たるようになった」と述懐されていた。

職場新聞「よあけ」から「かりに六十年生きたと見て、過去を振り返って見る時、自分が何をしたか、何を成し得たか、何を失ったか、何を残したか、何を抱いていたか、何を思っていたか、何を行動が果たして伴っているだになるのを恥かしいと思う。貧しくとも、良い、悔いのない人生をおくらたいものだ。

雜感

職場新聞「よあけ」から

宣傳指導部三分会新聞より
あけ (NO.四) 一月三十日
一回に掲載された、無署

九〇一〇、(省略)
三一八、(省略)
九〇一八、(省略)
一一、公傷入院の場合、(1)入院手当を月額二万円、(2)家族介護料を一万五千円、(3)家族給食を二人分、(4)家族の見舞い交通費の支給せよ。

一二、公私傷病休業補償は100%とせよ。なお、私傷は一日半の支給せよ。

一三一八、(省略)
一九、定着出勤奨励金は生活補給金として、額上げを行ない、全員に支給すること。

二二、公私傷病休業補償は100%とせよ。

二三、公私傷病休業補償は100%とせよ。

二四、(省略)

二五、社宅内の環境を改善せよ。

二六、社宅フロの入浴時間を一時間延長せよ。

二七、社宅の營繕工事は美徳を明らかにし、予算を大幅に増額せよ。

二八、(省略)

二九、CO₂患者用造成職場トレーナーを配置し、スポーツの時間設けよ。

二〇、(省略)

二一、国民祝祭日はすべて有給休暇とせよ。

二二、休暇についての要求

二三、(省略)

二四、(省略)

二五、(省略)

二六、(省略)

二七、(省略)

二八、(省略)

二九、(省略)

二九、(省略)